

せたがや生涯現役ネットワーク 令和2年度総会 議案書

次 第

(1) 議案審議

- 第1号議案 令和元年度事業報告について……………p.1
- 第2号議案 令和元年度決算・監査報告について……………p.22
- 第3号議案 令和2年度世話人および役職の選任について……………p.27
- 第4号議案 令和2年度事業計画について……………p.28
- 第5号議案 令和2年度予算計画について……………p.36

(2) 報告

- 第1号報告 会員入・退会について……………p.41



第1号議案 令和元年度事業報告について

(1)プロジェクト

(プロジェクト)

- 第7条 会員は、第2条に規定するネットワークの目的を実現するため、生涯現役の社会づくりを推進し、広く区民に呼びかけるプロジェクトを提案・実施することができる。
- 2 プロジェクトは、ネットワークに加入している2団体会員以上が共催・協力・連携等により実施する事業又は団体会員が単独で実施する事業とする。ただし、団体会員が単独でプロジェクトを実施する場合には以下に掲げる条件を満たさなければならない。
 - (1) 内容が社会貢献にふさわしいものであること。
 - (2) 収益を目的にしないこと。
 - (3) 団体の経常的な活動ではないこと。
 - 3 プロジェクト支援金額及び件数は別途世話人会が定める。
 - 4 同一団体、同一テーマでのプロジェクトの応募は3年を上限とし、3年を超えるプロジェクトについては別途世話人会で協議する。
 - 5 プロジェクトの実施希望団体は、計画案を原則としてプロジェクト実施前年度の2月又は実施年度の7月までに世話人会に提出する。
 - 6 世話人会でのプロジェクト承認をもって、プロジェクトの構成員が推薦する者が「プロジェクトリーダー」となる。
 - 7 プロジェクトの実施に先立ち、会員にプロジェクトの参加募集をすることができる。
 - 8 プロジェクトに関するすべての権限及び責任は、プロジェクトの構成員に帰するものとする。
 - 9 プロジェクトリーダーは、世話人会にてプロジェクトの進行状況報告を行い、総会にて成果報告を行うこととする。

令和元年度「せたがや生涯現役ネットワーク」 プロジェクト報告書

プロジェクト名	「せたがや生涯現役ネットワーク」を共生社会に活かすためのプロジェクト
開催日時	・おでかけサポーターズ（せたがや移動ケア）では、 4/27、6/29、8/24、10/19、12/14、2/29 の例会 14:00～16:00 の中で、このプロジェクトの活動を進めた。
会場	世田谷区立男女共同参画センター（らぷらす）、および世田谷ボランティアセンター
事業主体	おでかけサポーターズ（せたがや移動ケア）とせたがや地域デビューの会
テーマ	「せたがや生涯現役ネットワーク」を共生社会に活かすためにやるべきことは何か
趣 旨	「せたがや生涯現役ネットワーク」をプラットフォームとして、退職後のシニアが社会参加、社会貢献を容易にするしくみを企画・研究し、実践する。
事業内容	<p>(1) 「せたがや生涯現役ネットワーク」の参加団体へのアンケート調査 ・期間（11月中旬～12月）で、アンケートを実施した。24団体の回答を回収（回収率44%・全54団体中） ・生涯現役ネットワークの活動の評価やネットが期待されていること、そして共生社会に向けた社会づくりへの協力にそれぞれの団体が何ができるかなどをまとめることができた。</p> <p>(2) 世田谷区内の組織・団体との連携方法の研究とモデル実施 ・世田谷区社会福祉協議会の生活支援NPO等福祉団体協議会への協力参加や、世田谷区障害者福祉団体連絡協議会の施設見学会への参加などを通じて、今後のシニアの社会参加における連携の可能性を確認できた。</p> <p>(3) ハローワークやシルバー人材など公的機関や、企業の退職説明会などにおける、地域活動団体の紹介のしくみの制度化。 ・今回はこのテーマでの取り組みまでには至らなかった。</p> <p>上記の実践を踏まえた提言書の作成までには至らなかった。</p>
今後の展開	本プロジェクトで進めたことを令和2年度に予定されている「シニアの社会参加プロジェクト2020」につなげる。
会計報告	・会合時の会議室（ラプラス）の利用料や資料のコピー代はせたがや移動ケアにて支出した。アンケート調査の調査票の配布と回収はネットワーク事務局にて実施いただき、集計作業などは自分の団体メンバーによる作業で、費用支出はなかった。

(2) 補助事業

令和元年度補助事業「大人の学園祭」完了報告書

事業の名称	「大人の学園祭」テーマ「環境とまちづくり」
事業の実施期間	令和元年2月16日(日) 10時～16時
事業の実施場所	成城ホール、4階会議室A、B、C、DおよびE
参加人数	約300名
実施概要	<p><u>1階成城ホール舞台</u> 10:00～15:00 10:30～12:30 舞台パフォーマンス (10:00 開場) > 「劇団・せたがや創作紙芝居」 演目『さぎ草物語』他 > 「野鳥ボランティア」 講演『野鳥の姿を紹介』 > 「〔ご当地〕家族会」 落語 > 「日本サルサ協会」 サルサダンス実演 14:00～15:00 今井通子氏特別講演会 (13:30 開場、13:50 挨拶) テーマ「森とともに生きよう！ 森の楽しさ、癒し、そして環境を守る」</p> <p><u>1階ロビー販売</u> 9:45～15:30 「和綴じの会いろは」、「世田谷砂場クラブ」、「NPO 法人えこひろば」が出店</p> <p><u>4階</u> 10:00～16:00 (景品抽選会は11:00 から) 会議室A 休憩室としてお茶とお菓子を提供 会議室B スタッフ控室 会議室C・D 団体活動展示紹介 (15団体)、景品抽選会 会議室E 体験ふれあい室 (6団体)</p>
実施準備	<p>6月19日 ネットワーク加盟団体宛に実行委員募集通知を送付した。</p> <p>7月19日 第1回イベント実行委員会 講演者候補を検討し、6名の案が挙がった。</p> <p>8月5日 第2回イベント実行委員会 舞台参加団体の確認と講演者候補の交渉順を決定した。</p> <p>9月9日 第3回イベント実行委員会 講演者を今井通子氏に決定した。</p> <p>10月21日 第4回イベント実行委員会 チラシデザインについて検討した。</p> <p>11月18日 第5回イベント実行委員会 各部署の手順書、4階各部屋のレイアウトを検討した。</p> <p>12月24日 第6回イベント実行委員会 講演会申込状況の報告、手順書・役割分担の確認をした。</p>

	<p>1月10日 第7回イベント実行委員会 プログラム・アンケート作成準備を行った。</p> <p>1月24日 出展団体説明会（於 成城ホール会議室）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加団体へ各部署の手順を説明した。 ・4階展示参加団体の机の位置を抽選した。 ・参加団体へ講演会招待券を1団体に2枚配布した。 <p>※不参加団体へは後日、案内チラシと招待券（2枚）を送付した。</p>
事業成果	<p><u>(1) 今井通子氏講演会について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶参加者：一般169名（有料）、招待者54名 ▶電話申込120名、FAX・メール118名、事前申込者合計238名（実際参加率約71%） ▶特別講演アンケート（有効数53枚） ・「大変良かった/良かった」（74%）「普通」（0%） <p><u>(2) 運営について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員＋運営スタッフ58名の体制で実施し、イベント経験者を中心にスケジュール、組織、役割分担などを決めた。各責任者が担当部署の手順書を作ったことにより、当日参加の実行委員に対しても作業の流れがわかり好評だった。 ・抽選会には約400名の方が参加し、景品は約300個の提供があった。 <p><u>(3) 広報について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシはイベント全体版4,000部、今井通子版4,000部印刷。不足したため、追加で各2,000部を印刷して配布した。 ・区報の催し物欄に掲載できたことの効果は大きかった。 ・成城ホール近隣の2自治会にチラシの回覧、掲示を依頼した。
反省点	<p><イベント終了後、成城ホール会議室で反省会を実施（約40名参加）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前中の舞台観客が少なかった。集客に工夫が必要である。 ・受付で渡す封筒（300枚）の封入作業に時間がかかった。 ・4階への来場者誘導を積極的にやってほしかった。 ・抽選会場の場所がわかりにくかった。 ・講演会のキャンセル待ちの人を早く入場させてほしかった。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・4階ふれあい体験室で参加団体が紹介し合い、団体同志で体験しあったことにより、以前よりは交流が深まったと思うが、さらに交流を深め、各団体の活動に結びつける方策を提案する。 ・抽選会ではなく、本来の目的である展示室、体験室の参加者を増やす。

令和元年度補助事業「せたがやシニア現役プロジェクト」完了報告書

事業の名称	せたがやシニア現役プロジェクト	
事業の実施期間	平成31年4月13日から令和2年3月31日	
事業の実施場所	ひだまり友遊会館ほか	
参加人数等	地域の仲間づくり講座	参加者数 32名、延べ118名
	地域活動体験講座	参加者数 23名、延べ54名
	iPadアドバイザー養成講座	参加者数 10名、延べ37名
	iPadアドバイザー交流会	参加者数 10名
	iPad講座(3町会)	参加者数 31名、延べ63名
	HP作成支援PC講座(3町会)	参加者数 15名、延べ45名
	町会交流会	参加者数 11名
事業の実施結果	<p>1. せたがやシニア現役プロジェクトの今までの経緯： 平成27年4月に始まった生涯現役ネットワークの有志による「生涯現役社会参加に向けたシニアの社会参加推進」の検討が母体となって、平成27年度臨時総会（平成27年9月16日開催）で「せたがやシニア現役プロジェクト」が承認され、平成28年度から3年計画のプロジェクトとしてスタートした。 趣旨は、せたがや生涯現役ネットワークが主体となり、(1)地域活動の担い手の発掘やリーダー育成を行うとともに、(2)ITを活用してシニアライフの充実を図り、もってシニア世代のさらなる社会参加を推進することにある。事業費は全額世田谷区からの補助金を見込み、世田谷区はその2分の1について東京都補助金を申請している。 当初予定は3年であったが、順調に成果が出ていることから、さらに1年延長をすることを提案し、平成31年度総会（平成31年4月5日開催）で承認されて実施した。</p> <p>2. 令和元年度 せたがやシニア現役プロジェクトの概要 名称：せたがやシニア現役プロジェクト</p> <p>(1) 地域活動の担い手の発掘とリーダーの育成 今年度の実行委員会ではまち歩き講座と地域活動体験講座を同時に討議するため、メンバーに受講生OBの人数を増やした。受講生OBを中心に生涯現役ネットワーク世話人会役員にも参加してもらうなど実行委員の多様化を推進した。 また、前年度の反省会で、目的としていた生涯現役ネットワーク加盟団体への受講生の加入は16人と一定の成果があったが、講座終了後のフォローをどうするかが課題であるとの意見が出されていたため、この反省も踏まえて事業を実施した。</p> <p>①まち歩きを通じた仲間づくり 4年目の今年度は以下を目標とし、事業に臨んだ。 ・まち歩きの企画は生涯現役ネットワーク加盟団体や区役所、地域団体と連携すること。 ・講座企画は受講生の自主性も考慮し、実行委員会で内容を十分に討議して進めること。(受講生がはやく講座になじめるよう</p>	

にする)

募集人数は 40 名とし、昨年度までは年 2 回実施していたが、春のみの年 1 回の企画とした。

また、内容は「まち歩き」を通じた「仲間づくり」とした。

②地域活動の担い手となる人材の発掘

今年度は以下を目標として事業を実施した。

- ・地域活動体験講座の受講生受入団体を 15 団体以上とすること。
- ・地域活動体験講座を 30 名以上の方に受講してもらうこと。

③事業期間、事業実施主体、人材グループ事業予算

- ・事業期間：平成 28 年度から令和 2 年度までの 4 年間
- ・事業実施主体：生涯現役ネットワーク
- ・人材グループ事業予算：669,500 円

(2) IT リテラシー向上によるシニアライフ充実サポート

①iPad アドバイザー養成講座の実施

- ・内容：iPad 講座のアドバイザー（講師）を養成し、今後の講座の担い手や地域で活躍する人材を育成した。
- ・定員：10 人×1 回（8 コマ）を実施した。

②既存の有用なアプリやサイトにすぐにアクセスできるプラットフォームの作成による生活安全・便利情報の提供

- ・内容：情報検索に不慣れな高齢者を対象に、必要な情報に簡単にアクセスできるような検索プラットフォーム（せたがや暮らし）を作成し、生活安全やお出かけに資する情報を提供することにより、シニアの社会参加促進を支援した。

③地域活動団体の HP 作成支援・評価・検証による団塊世代等の活動参加促進

- ・初年度に作成したモデル的な HP を活用して、HP を持たない地域活動団体（町会や地域団体）を対象に、新たに HP を作成し、団塊世代など新たなシニア層のさらなる活動参加を促進した。
- ・3 団体を対象に選び、3 日間 6 講座を実施した。

④iPad 講座の実施

- ・地域活動団体の初心者、シニア向けに iPad 講座を行った。
- ・定員 10 人×3 回（6 コマ）を実施した。

⑤事業期間、事業実施主体、IT グループ事業予算

- ・事業期間：平成 28 年度から 4 年間（期間終了後においても自主的に活動を続けていくことを目指した。）
- ・事業実施主体：せたがや生涯現役ネットワーク
- ・IT グループ事業予算：1,662,500 円

(3) 組織・運営：せたがやシニア現役プロジェクトの代表は兎山好直

- ・担当事務官コンゴさんの案内で会議室へ移動し、アンゴラ共和国の現況についてスライドを使用した説明を受けた(90分)。その後30分の質問時間を取ってから終了した。
- ・共和国日本全権大使に玄関で見送っていただいた。
- iv) 令和元年6月22日(土)
 - ・生涯現役ネットワーク加盟団体の「野鳥ボランティア」と連携したまち歩き。野鳥観察指導と説明を依頼した。兵庫島周辺で実施した。
- v) 令和元年6月29日(土)
 - ・三軒茶屋から下北沢へ歩く、地域のおいしい穴場めぐりのまち歩きをした。下北沢ではCOS 下北沢の協力で「地域共生の家」を見学した。団体の理事から直接説明を伺うことができた。
- vi) 令和元年7月6日(土)
 - ・四国四十八ヶ所をめぐる玉川大師の地下霊場見学と等々力溪谷を歩くまち歩きを実施した。等々力溪谷については生涯現役ネットワーク加盟団体「世田谷区誌研究会」の協力を得て、解説をしていただいた。
- vii) 令和元年7月13日(土)
 - ・まち歩きの報告会：スライド画像を使いながら、リーダーから報告をした。
 - ・これからの活動としてどんなことができるかの自由討議をして連絡網を作成した。

②地域活動担い手の発掘

<会議>

- i) 令和元年6月3日 地域活動実行委員会(8名)
 - ・講座のキャッチコピー決定等
- ii) 令和元年6月21日 地域活動実行委員会(8名)
 - ・チラシに掲載する紹介文の検討
 - ・講座当日のスケジュール決め
- iii) 令和元年7月31日 地域活動実行委員会(8名)
 - ・講座当日のスケジュール決め
 - ・広報について(新聞折り込み)
- iv) 令和元年10月23日 地域活動実行委員会(7名)
 - ・参加者への連絡方法についての検討
 - ・11月の講座の内容確認
- v) 令和元年12月19日 地域活動実行委員会(6名)
 - ・各講座の反省等

<講座>

- i) 令和元年9月7日(土)
 - ・生涯現役ネットワーク活動の紹介
 - ・せたがやボランティア協会の活動紹介
 - ・地域活動の先輩2名からの体験報告

ii) 令和元年9月14日(土)

生涯現役ネットワーク兜山代表参加

- ・体験受け入れ団体の活動紹介
- ・各団体の個別面談会を開き希望者の相談にのる

* 令和元年「地域活動体験講座」受け入れ団体

	担当者
1 優遊会	中島さん
2 NPO法人えこひろば	多田さん
3 世田谷地域デビューの会	臼井さん
4 劇団・せたがや創作紙芝居	景山さん
5 老人給食協力会 ふきのとう	佐野さん
6 野鳥ボランティア	野本さん
7 世田谷環境学習会	石川さん
8 NPO法人せたがや移動ケア	市村さん
9 世田谷老人問題研究会	河合さん
10 世田谷ウォーキングフォーラム	佐伯さん
11 世田谷区誌研究会	中井さん
12 NPO法人シニアSOHO世田谷	山根さん
13 NPO法人 日本サルサ協会	高取さん

iii) 令和元年11月2日(土)

- ・参加者からの活動体験報告会
- ・参加者交流会

iv) 令和元年11月9日(土)

- ・団体を立ち上げるにはどのようなことを考えればよいか
- ・地域包括システムについて(世田谷社会福祉協会)
- ・参加者交流会(連絡網の作成)

③入会団体名と人数

令和元年度のネットワーク団体入会者は、15名となる。
内訳は以下のとおり。

・劇団・せたがや創作紙芝居	4名
・ウォーキングフォーラム	3名
・野鳥ボランティア	2名
・世田谷環境学習会	2名
・せたがや移動ケア	3名
・世田谷地域デビューの会	1名

(2) ITリテラシー向上によるシニアライフ充実サポート

①基本コンセプトの検討

- i) 4月25日、ひだまり友遊会館にてメンバー3名参加
 - ・ITグループとしての年間予定、予算等について皆で情報共有した。
 - ・町会向けHP作成支援については、4月24日の町総連の会議で承認され、HP作成支援募集の案内を全町会・自治会宛に郵送した(193通)。また今年度の目玉であるアドバイザー交流会については、6月22日開催とし、養成講座修了者に案内を送った(4月22日)。
 - 併せて今までにHP作成支援をした町会(6か所)に、町会交流会の案内を送ることにした(4月27日)。
- ii) 4月29日、ひだまり友遊会館にて5名参加
 - ・本年度事業予算の月割りを確認した。町会交流会、アドバイザー交流会について、どう進めるか話し合った。
 - プラットフォーム「せたくら」の更新作業の進め方、本年度のアドバイザー養成講座の進め方についても議論した。

②iPadアドバイザー養成講座の実施

<会議>

- i) 5月16日、ひだまり友遊会館にて4名参加
 - ・今年度の養成講座の募集チラシを作成し、区施設に配布した。
 - アドバイザー交流会の参加状況を把握した。
- ii) 6月18日、松陰神社通りレストランにて5名参加
 - ・アドバイザー交流会について、最後の詰めを行い、当日の役割を確認した。交流会の参加希望者は13名。
- iii) 6月22日、ひだまり友遊会館にて4名参加
 - ・今年度のアドバイザー養成講座の応募者は9名になった。講座の進め方について話し合った。講座の内容は昨年度を参考にし、講義の後にワークショップを実施することにした。昨年度養成講座を受講した中から2名を選んでアシスタントとして参加してもらうことにした。
- iv) 6月27日、松陰神社通りレストランにて2名参加
 - ・アドバイザー養成講座の詰めを行った。受講者には、事前にテキストをメールで送り、予習しておいてもらうことにした。
- v) 6月29日、ひだまり友遊会館にて5名参加
 - ・アドバイザー養成講座の準備状況を確認した。講座内容・テキスト内容とチラシ記載の内容との整合性を確認し、講師分担についても再確認した。テキストの準備ができ次第、受講者にメールすることにした。受講者はその後1名増えて10名になった。

<アドバイザー交流会>

- ・6月22日、ひだまり友遊会館にて実施した。
- ・参加者：講座修了者10名、スタッフ5名、ネットワーク1名、区1名
- ・アドバイザー養成講座修了者に集まって頂いて交流会を開催した。皆さんから活動紹介があり、その後今後の活動の場についての話し合いや、困ったことの見聞交流などを行った。

<アドバイザー養成講座> (いずれもひだまり友遊会館にて実施)

i) 7月6日、第1回

(受講者9名、スタッフ3名、アシスタント2名、区1名、オブザーバー2名)

- ・講師の心得、iPadの基本操作、カメラ機能、写真の編集機能などの説明。ワークショップを実施した。

ii) 7月13日、第2回

(受講者9名、スタッフ3名、アシスタント2名)

- ・メールの活用、伝助アプリの紹介、インターネット・ネット検索などの説明。ワークショップを実施した。

iii) 7月20日、第3回

(受講者9名、スタッフ3名、アシスタント2名)

- ・HPの閲覧と「せたくら」、お役に立つアプリについて紹介。ワークショップを実施した。

iv) 7月27日、第4回

(受講者10名、スタッフ3名、アシスタント2名)

- ・防災時のiPad、SIMの取り扱い、チラシ作成のポイント、iPadの設定について説明した。ワークショップを実施した。
- ・最後に、受講者に今後の活動の場について紹介した。今年度の講座では、ワークショップを実施したが、受講者がまだ講座体験をしていない状態では、意見が出にくいことが分かった。今後の課題として検討することにした。

(参考)

前年度のアドバイザー養成講座修了者がサポーターとして活躍

7月6日：アドバイザー養成講座に参加(2名)

7月13日：アドバイザー養成講座に参加(2名)

7月20日：アドバイザー養成講座に参加(2名)

7月27日：アドバイザー養成講座に参加(2名)

③プラットフォームの作成

<会議>

i) 7月6日、松陰神社通りレストランにて5名参加

- ・昨年度に完成した「せたがや暮らし(せたくら)」アプリについて見直した。この7月に世田谷区役所のHPが大幅に変更になったため、「せたくら」でリンクを張っている世田谷区HPが「見当たらず」

ない」という表示が出てしまうことが分かった。検索エンジンがまだ対応していないことと、対応するHPがなくなったためと思われる。30か所以上もあり、それぞれについて調べて、修正する必要がある。時間をかけて修正していくことにした。

また「せたくら」の利用度を高める方策についても検討した。まずはチラシを作成することにした。

また課題として、Android端末の場合、バージョン7までの端末では「せたくら」が利用できないことである。NDSにアプリの変更ができないか、変更の経費はどれほどか調べてもらうことにした。

ii) 9月30日、松陰神社通りレストランにて4名参加

・「せたくら」のチラシを9月下旬に印刷を依頼（3000部）。10月上旬に配送することにした。

「せたくら」の今後の活用について話し合い、町会のiPad講座で紹介したり、スマホ講座でも紹介することとした。

iii) 10月30日、松陰神社通りレストランにて4名参加

・「せたくら」のチラシを区内諸施設に配架したので、その効果を見るためにアクセス数を分析した。スマホ講座で「せたくら」を紹介すると、一時的にアクセス数が増えることが分かった。「せたくら」の利用を増やすアイデア（付加価値をつけること）について検討した。

また補助事業終了後の「せたくら」の運営についても話し合った。

iv) 11月29日、NDS会議室にて6名参加

・「せたくら」Androidアプリをバージョン7にも適用できないかという点については、Google社の方針により不可能であることが判明した。

・7月の世田谷区HPの大幅変更により「せたくら」の修正作業が必要になったが、補助予算の関係で、プロジェクト側で実施することになる予定。

・「せたくら」の利用促進策について議論した。

また補助事業終了後の「せたくら」の運営についても話し合った。

④町会HP作成支援及びiPad講座

<会議>

i) 5月30日、ひだまり友遊会館にて5名参加

・区内の全町会・自治会に募集をかけた（4月27日発送）ところ、4か所から応募があった。今年度の試みとして、今までに作成支援した町会（6か所）のフォローアップと新規応募の町会への啓蒙を兼ねた交流会を6月18日に開催することとし、その詰めを行った。

ii) 6月3日、区役所にて3名（区1名、スタッフ2名）参加。

・HP作成支援への応募が4か所となり、予定の3か所から1か所増えたので、対応について区と相談した。講座を合同で行うなどの工夫をすることにより、予算額はそのまま4か所に対応することにした。

併せて6月18日の町会交流会に区からの参加を依頼した。

iii) 6月5日、ひだまり友遊会館にて3名参加。

・4か所実施することを確認し、それぞれの担当を決めた。

桜丘1丁目町会は内藤、岡崎、松原5・6丁目自治会は岡崎、真貝、赤堤1丁目町会は菅野、藤田、桜上水ガーデンズ管理組合法人は真貝、石田とした。

各担当は、担当町会にコンタクトして、打ち合わせ日を設定した。また6月18日開催の交流会についても詰めを行った。

iv) 6月10日、桜上水ガーデンズにて3名

(うちスタッフ2名) 参加

・桜上水ガーデンズとHP作成支援について打ち合わせを行った。ここは2015年に建替えられた9棟からなる大規模マンションであり、会議室、図書室、カルチャー室などを備えたホテル並みの施設を有している。

v) 6月12日、プラウド世田谷桜丘ロビーにて3名

(うちスタッフ2名) 参加

・桜丘1丁目町会とHP作成支援について打ち合わせを行った。支援の内容とスケジュールについて説明したのち、HPのひな型を当方で作成するので必要なデータの収集、講座受講者の選定を依頼した。

vi) 6月13日、松原5・6丁目自治会館にて5名

(うちスタッフ2名) 参加

・松原5・6丁目自治会とHP作成支援について打ち合わせを行った。
・支援の内容とスケジュールについて説明したのち、HPのひな型を当方で作成するので必要なデータの収集、講座受講者の選定を依頼した。

vii) 6月19日、赤堤1丁目町会長自宅にて4名

(うちスタッフ2名) 参加

・赤堤1丁目町会のHP作成支援について打ち合わせを行った。支援の内容とスケジュールについて説明したのち、HPのひな型を当方で作成するので必要なデータの収集、講座受講者の選定を依頼した。

viii) 7月20日、松陰神社通りレストランにて4名参加

・各町会のHP作成支援の状況について確認した。

・町会への支援内容やスケジュールの説明は終わっているが、まだ町会からデータの提供は出てきていない。今後のスケジュールを考えると、7月末までにデータの提供を受けるよう、町会に催促することにした。

・桜上水ガーデンズについては、広報担当役員が交代になり、まだ合意ができていないが、準備は進めておきたい。(防災に特化したHPにする予定)

ix) 8月8日、松原5・6丁目自治会館にて5名

(うちスタッフ2名)参加

・松原5・6丁目自治会からデータがまとまったという連絡があり、関係者で打ち合わせを行った。HPのスタイルについては、区内町会の実際のHPの特徴をまとめた画像を見ていただき、ヒントにしてもらった。

このデータを基に当方で8月末までにひな型を作り、それに沿ってPC講座を9月中旬から開催することにした。

x) 11月14日、ロイヤルホストレストランにて4名参加

・町会HP作成支援の進捗状況について確認した。

松原5・6丁目自治会は終了、赤堤1丁目町会は11月17日終了予定。桜丘1丁目町会は11月25日からPC講座開始の予定。桜上水ガーデンズは広報担当役員が交代になって以来、話し合いができていない。

・PC講座を実施してきたの反省は、講座では分かったつもりでも、実際にHP更新作業をすると困った点が出てきた時の対応。リーダー格の人を育てることが必要である。

<町会・自治体HP交流会>

・6月18日、ひだまり友遊会館にて実施した。

・参加者：町会関係者11名、スタッフ6名、ネットワーク1名、区2名、Jimdo社1名

・今までにHP作成支援した町会(5か所、9名)と新規応募の町会(2か所、2名)に集まっていたらいて交流会を実施した。区、生涯現役ネットワーク、Jimdo社からも参加していただいた。

・Jimdo社から最近の機能改善の状況についての説明ののち、各町会から現状と課題について紹介があり、活発な意見交換が行われた。

<PC講座>

【松原5・6丁目自治会のPC講座】(松原5・6丁目自治会館で実施)

i) 9月25日、1日目(参加者5名、スタッフ3名)

・使用するソフトJimdoの説明、アカウントの取り方の説、HPの基本的な設定、編集などについて説明した。

ii) 10月1日、2日目(参加者6名、スタッフ3名)

・写真のアップ方法、写真の編集・加工(Jimdoの編集機能がなくなったので代わりに機能を説明)など、リンクの設定、表の作成、問合せフォーム、会員専用ページの作り方などについて説明した。

iii) 10月9日、3日目(参加者3名、スタッフ3名)

・管理メニュー、文書・写真・PDFファイルのアップの仕方を復習、HPの運用、会員への連絡方法などを説明。HP運用のガイドライン、運用規定案を説明。今後のiPad講座について説明した。

【赤堤1丁目町会のPC講座】(町会長宅で実施)

i) 10月27日、1日目(参加者6名、スタッフ3名)

・使用するソフト Jimdo の説明、アカウントの取り方の説明し、HP の基本的な設定、編集などについて説明した。

ii) 11月10日、2日目 (参加者5名、スタッフ3名)

・写真のアップ方法、写真の編集・加工 (Jimdo の編集機能がなくなったので代替りの機能を説明) など、リンクの設定、表の作成、問合せフォームなどについて説明した。

iii) 11月17日、3日目 (参加者8名、スタッフ3名)

・管理メニュー、文書・写真・PDF ファイルのアップの仕方を復習、HP の運用、会員への連絡方法などを説明。HP 運用のガイドライン、運用規定案を説明。今後の iPad 講座について説明した。

【桜丘1丁目町会の PC 講座】 (プラウド世田谷桜丘で実施)

i) 11月25日、1日目 (参加者4名、スタッフ3名)

・使用するソフト Jimdo の説明、アカウントの取り方の説明、HP の基本的な設定&編集などについて説明した。

ii) 11月27日、2日目 (参加者5名、スタッフ3名)

・写真のアップ方法、写真の編集・加工 (Jimdo の編集機能がなくなったので代替りの機能を説明) など、リンクの設定、表の作成、問合せフォームなどについて説明した。

iii) 11月28日、3日目 (参加者3名、スタッフ3名)

・管理メニュー、文書・写真・PDF ファイルのアップの仕方を復習、HP の運用、会員への連絡方法などを説明。HP 運用のガイドライン、運用規定案を説明。今後の iPad 講座について説明した。

< iPad 講座 >

【松原5・6丁目自治会の iPad 講座】 (松原5・6丁目自治会館で実施)

i) 11月27日、1日目

(参加者13名、スタッフ3名、アシスタント1名)

・iPad の基本操作、写真機能、Photobooth の説明、当自治会の HP を閲覧した。
・当自治会は iPad 講座に熱心であり、「自治会たより」に案内したり、掲示板にポスターを掲示したりしてくれたおかげで多数の参加者が集まった。

ii) 11月29日、2日目

(参加者13名、スタッフ3名、アシスタント1名)

・メールの活用、「せたくら」の紹介、インターネットの活用、ネット検索、当町会の HP の閲覧を行った。

【桜丘1丁目町会の iPad 講座】 (プラウド世田谷桜丘で実施)

i) 1月18日、1日目 (参加者5名、スタッフ3名)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ iPad の基本操作、ゲームアプリで指の使い方練習、写真機能、Photobooth の説明を行った。 <p>ii) 1月19日、2日目(参加者3名、スタッフ3名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メールを活用、「せたくら」の紹介、インターネットの活用、ネット検索、当町会のHPの閲覧を行った。 <p>【赤堤1丁目町会のiPad講座】(赤堤生涯学習センターにて実施)</p> <p>i) 1月26日、1日目(参加者13名、スタッフ3名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iPad の基本操作、iOS と Android の違いの説明、ゲームアプリで指の使い方練習、写真機能、Photobooth の説明。「大人の学園祭」の紹介を行った。 <p>ii) 2月2日、2日目(参加者16名、スタッフ3名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットの活用、ネット検索、「せたくら」の紹介、メールの活用、当町会のHPの閲覧を行った。
<p>事業の成果の具体的内容 (目標と実績)</p>	<p>1. 人材グループ</p> <p>(1) 地域活動の担い手となる人材の発掘と育成 実行委員は講座卒業生5名(市村、今井、萬谷、須藤、大島)、現役のせたがや生涯現役ネットワーク世話人(臼井)、スタッフ経験者3名(中島、佐伯、小川)と当初目標とした多様なメンバー9名で実施することができた。</p> <p>①仲間づくりと人材発掘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 40歳からの仲間づくり大作戦!!(募集人数40名) 応募人数 32名 講座参加者延べ 118名 ・ まち歩き講座は、①受講生に早くなじんで貰える講座構成・企画にするために十分討議をすること、②生涯現役ネットワーク加盟団体や区役所、地域団体と連携した内容にすることを考慮しながら進めてきた。また、実行委員から意見が出されたため、講座終了後にマニュアル作成も行った。 ・ それぞれについて具体的に述べると、受講生が早く講座になじめるように、初日に受講生の自己紹介を実施するとともに、座学の一環として受講生同士が話し合っってコースを決めるフリープランまち歩きを企画した。 また、生涯現役ネットワーク加盟団体や区役所、地域活動団体との連携については、野鳥ボランティアを講師とした兵庫島でのバードウォッチング、世田谷区誌研究会のメンバーに解説を依頼した等々力溪谷でのまち歩き(生涯現役ネットワーク加盟団体との連携)、アンゴラ大使館見学(区役所との連携)、地域活動団体「COS下北沢」見学などの企画を実施した。 ・ マニュアル作りについては実行委員から意見があったため、今年度初めて作成した。今井氏の協力により、次年度以降の参考にな

る「まち歩きマニュアル」を作ることができた。

②地域活動担い手の育成

- ・シニアの社会参加体験講座（募集人数 30名）

応募人数 23名

講座参加者延べ 54名

活動体験延べ 44名

- ・今年度は目標としていた受講生数である30名を達成することはできなかったが、応募人数23名と4年間の中で最も多い応募となった。また、受講生受入団体は15団体の参加を目標としていたが、13団体の参加であった。
- ・今回はまち歩きと地域体験講座の実行委員9名で、講座募集チラシのタイトル作りに時間を割いた。その結果「あなたのちからをお・す・そ・わ・け」という募集タイトルコピーができた。また実行委員に世話人会現役役員の臼井氏が参加した。その結果、運営や企画の新しい観点からの意見が加わったと感じる。講座終了後は、卒業生の連絡責任者を決めた。今後とも情報交換などでつながりを保っていただければと思う。

2. IT活用グループ

(1) ITリテラシー向上によるシニアライフ充実サポート

①iPadアドバイザー養成講座の実施

(計画予定人員10名=実施人員10名)

- ・計画どおり10名の応募があった。応募の動機を見ると、皆さんITに関心があり、ある程度のスキルを持っているので全員を受講者とした。講座は4日間8講座であり、昨年度に使用したテキストを改良して利用した。優秀なアシスタントであり、今後の活躍が期待される。

②プラットフォームの作成

- ・前年度までに完成したプラットフォーム「せたがや暮らし（せたくら）」のWEB版、アプリ版（iOS版、Android版）をもとに、さらに使いやすくなるよう改善した。

特に世田谷区役所のHPが7月に大幅改定されたので、リンク先を探して張り直すなど、かなりのエネルギーと時間を費やした。（区のHP変更に伴う「せたくら」の修正箇所は32件、またシュミカツの変更による修正箇所は4件）

- ・3月には新型コロナウイルスの情報発信のため新しいページを増やしたり（修正箇所8件）、区の広報手段を紹介するページを増やすこと（修正箇所7件）も行った。

- ・こうして改善された「せたくら」については、機会あるごとにすまほ研究会のスマホ講座や町会向けのiPad講座などで受講者に紹介し、実際に使ってもらったが、概ね好評であった。

また「せたくら」のチラシを作成して区施設に配布したほか、「大人の学園祭」など機会あるごとに配布した。

③町会HP作成支援、PC講座

- ・当初は、3 団体を対象に HP 作成支援を行う予定であったが、4 団体の応募があったので、やり方を工夫して、当初予算のままで 4 団体を支援対象とした。ただし、桜上水ガーデンズについては、広報担当役員が変更になったため、HP 作成の話し合いができない状態になってしまったことは残念であった。
- ・HP 作成ソフトは従来通り Jimdo を使用し、前年度の教材を最新版に見直しをした。また、4 団体の HP のひな型は、従来のもをベースに作成した。
- ・Jimdo はマニュアルが揃っており、またある程度パソコンができる人にとっては感覚的に使えるソフトであるので、ポイントを記載したテキストを作り、むしろ実地に操作を体験していただくことを主に講座を進めた。
- ・PC 講座は 3 日間 6 講座に組直しをしたため効率よく対応を進めた。受講者は 45 名になり、それぞれの町会・自治会の HP 更新作業の要になる方であった。講座では受講者に「作業用 HP」を自由に操作してもらい、Jimdo の使い方に慣れていただいた。多くの質問があったが、当方で用意した「HP ひな型」を町会スタッフが改良し、予想以上に素晴らしいものに仕上げてくださいました。

④タブレット (iPad等) 講座の実施

(計画予定人員 10 名>>実施人員 34 名)

- ・講座の目的は、町会が HP を立ちあげるのので、それを iPad で閲覧することができるようにすることである。対象は町会役員を中心に受講していただいた。主に iPad 超初心者という設定で、講座内容を考えた。「iPad は面白い」と思ってもらえることを主にして、テキストはポイントのみを記すことにした。
- ・今年度は「せたくら」のアプリについて紹介し、活用を促した。参加者は 4 町会で延べ 63 名にもなり、中には貸出用 iPad が足りなくなる町会もあった。
- ・講座は今迄の経験から 2 日間 4 講座に短縮して実施した。各町会とも事前の準備を積極的にしてくださり、スムーズな運営ができた。

成果の自己評価

1. 人材グループ：地域活動の担い手となる人材の発掘と育成

講座 OB 5 名、世話人会現職 1 名、講座スタッフ経験者 3 名というように当初目標としていた人材グループ実行委員の多様化を推進できたのは、3 年間の実績から人材グループへの信頼感があつたためだと考える。

(1) 仲間づくりと人材発掘

昨年実施した春の仲間づくり講座は応募者が 13 名と低調であったが、昨年度の秋の仲間づくり講座ではこの反省を踏まえ、タイトルの変更やまち歩きの内容変更等を行い、応募者数の増加に成功した。

今年度も昨年度に得たノウハウを活用し、まち歩きの内容・チラシ作成等を行ったところ、応募者は32名となり、昨年度の春の仲間づくり講座と比較して2.5倍もの応募があった。多様な実行委員で企画できたからこそ、まち歩きの内容を充実させることができた。

また今年度は卒業生の連絡網も配布することができ、役員も決定した。今後の積極的な活動に結び付くことを期待する。

(2) 地域活動担い手の育成

応募者23名、活動体験参加者延べ44名とどちらも昨年度の人数(応募者21名、体験講座参加延べ37名)を上回ったが、生涯現役ネットワーク加盟団体への加入者数は15名と昨年度の17名を下回った。その要因としては、講座のタイトルや紹介文を例年と大きく変更したことで、講座の参加者層が「地域活動初心者」から「地域活動経験者(すでに団体での活動をしている方)」に変化したことが考えられる。

2. IT活用グループ:ITリテラシー向上によるシニアライフ充実サポート

(1) iPadアドバイザー養成講座の実施

定員どおり10名の参加があった。4年間の経験により、現在のカリキュラムでサポーターが養成できることが分かったので、今後とも必要に応じて、アドバイザー養成講座を実施したい。

養成講座を実施して予定通りサポーターが増えてきているが、今後は、サポーターの活躍できる場の提供が課題となってくる。

今年度は受講者を対象に交流会を実施したが、好評であった。

(2) プラットホームの作成

今年度は今までに作成したWEB版、アプリ版(iOS版、Android版)の周知紹介・広報を行った。すまほ研究会のスマホ講座・カフェなどで「せたくら」を紹介して使ってもらっているが、シニアの調べものに便利という声があり、利用頻度が多いに高まることが期待できる。

内容やページの追加修正が可能であることから、たとえば新型コロナウイルスが注目されたので、すぐにページを増やしたり、区報に世田谷区の広報手段についての紹介があったのでページを増やして情報発信に努めるなど、改善をしてきた。今後とも折に触れて情報発信の強化をしていきたい。

(3) HP作成支援

今回も町会・自治会を対象とし、町総連を通じて区内の全町会にHP作成支援の通知を出したところ、応募は4団体もあった。

今までに6か所の町会自治会のHPを作成してきた活動がようやく知られてきたと思われる。(ただし、桜上水ガーデンズのHP支援が中途になったことは残念であった。次年度に期待したい)

従来はHPのメリットを感じていても、HP作成ソフトが使い辛いという印象があったが、Jimdoは簡単であるので、少し教えてもらえば、自分たちで運営ができるという特徴がある。

こうした点も知らせながら、今後補助事業終了後はHP作成講座として自主運営していきたい。できれば町総連の協力が得られれば有難い。

またHP作成支援を行った町会が9団体になったので、今後とも町会のHP担当者のフォローアップを続けていきたい。こうした活動により町会のHP開設の機運が高まればうれしい。

(4) PC講座

折角HPを開設しても更新ができなければ意味がない。使いやすいソフトを選ぶことと、更新作業のための人材教育が大切である。

こういう趣旨で今までどおりJimdoを採用し、好評であった。Jimdoもかなり使いやすくなってきたので、HP更新作業も楽になってきている。なおPC講座では、受講者が一斉にPC操作をするので、WiFiの遅れが気になっていたもので、今年は新たにWiFiルーターを月ぎめで借りて使用した。

今年度は町会交流会を開催したが、HP更新作業者同士が話し合う機会がなかったので、好評であった。

(5) iPad講座の実施

講座では、難しいことは言わずに、iPadの面白さを実感していただくことに主眼を置いた。iPadの使い方については、別途すまほ研のiPad講習会などがあるので、そちらで学ぶというスタンスである。こういった趣旨が活かされたと思う。

今後、町会の方々に、いかにHPに関心を持っていただけるかが課題である。

「せたくら」のアプリが完成したので、その紹介を行ったが、便利さを実感していただけたと思う。iPadやスマホで「せたくら」を見ただけであれば、位置情報が活用できるので、例えば災害時に役立つことなど、一層便利に使えることが理解できたと思う。

また、昨今災害が頻発したが、その対応方が町会の大きな役目を担っている。その時にHPが役に立つので今後多いに注目されつつある。

(3)ホームページ委員会

2019(令和元)年度「せたがや生涯現役ネットワーク」 ホームページ委員会報告書

主旨	<p>2012（平成24）年度以来続けてきた生涯現役ネットワークのホームページの運営管理は、昨年度からホームページ委員会に引き継がれた。 このホームページは、生涯現役ネットワークおよびその会員団体の活動情報を発信したり、会員団体のホームページとのリンクを張るなど、会員団体間の情報共有のツールであり、各会員団体が相互に積極的な利用を図ることにより、より活発な活動を推進することを目的としている。</p>																
事業実績・評価	<p>事業実績) 次の活動を行った。</p> <p>① HP の運営方針は、昨年度と同様に、情報収集については委員全員で担当し、HP の更新作業については、マニュアルに沿って、誰でも更新作業が出来るようにした。</p> <p>② ネットワークの活動情報や会員各団体のイベント情報を広報した。会員団体からの個別の依頼に応じてイベント情報を掲載したほか、委員各位が収集した情報を掲載した。定例的な活動については定期的に情報収集して掲載した。また区報などに掲載された情報の中から会員団体のイベント情報を得て、HP に転載した。</p> <p>③ 新型コロナウイルスの感染防止のため、第4 四半期に入ってから各団体とも活動が自粛モードになり、殆どのイベントが中止・延期になり、その中止状況を追いかけるのに忙しかった。</p> <p>④ HP を持っていない会員団体の活動や会報誌を掲載した。また HP を持っている会員団体の HP とのリンクを張った。</p> <p>⑤ 「大人の学園祭」について、HP による広報と参加申込受付窓口を提供した。</p> <p>⑥ ネットワークのプロジェクトのイベントについても、広報した。</p> <p>⑦ 世話人会や事務局から要望のあった情報を掲載した。</p> <p>⑧ HP への問い合わせについては、事務局や代表と相談して、対応した。</p> <p>評価) 昨年度から委員会体制になり、委員が6名集まったので、委員各位の協力により、収集された情報が格段に増え、本年度にHPに掲載されたイベント件数は464件（前年度は277件）となった。また運営体制が整備され、情報収集の強化と安定的な運営が出来るようになった。</p> <p>現在のホームページ委員は、石川令子、岡崎宏、片岡龍次、真貝高三、菅野達夫、藤田秀一の6名。（敬称略、五十音順）</p>																
会計報告	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 30%;">収入</td> <td style="width: 40%;">運営費</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">60,000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>支出</td> <td>HP 更新作業費</td> <td>3000 円 x 12 月 = 36,000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>会議・活動費</td> <td>6000 円 x 4 回 = 24,000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">60,000 円</td> </tr> </table>		収入	運営費	60,000 円		支出	HP 更新作業費	3000 円 x 12 月 = 36,000 円			会議・活動費	6000 円 x 4 回 = 24,000 円			計	60,000 円
	収入	運営費	60,000 円														
	支出	HP 更新作業費	3000 円 x 12 月 = 36,000 円														
		会議・活動費	6000 円 x 4 回 = 24,000 円														
		計	60,000 円														

第2号議案 令和元年度決算・監査報告について

収入		予算	実績内訳	実績	差額
一般会計	前年度繰越金	217,114		217,114	0
	年会費	110,000		100,000	▲ 10,000
	利息	0		2	2
特別会計	(1) イベント(大人の学園祭)				
	講演会入場料	90,000		84,500	▲ 5,500
	区補助金	400,000		400,000	0
	利息	0		3	3
	(2) せたがやシニア現役プロジェクト				
	参加費	110,000		88,000	▲ 22,000
	40歳からの仲間づくり参加費		13,000		
	地域活動体験講座 参加費		18,000		
	iPadアドバイザー講座参加費		57,000		
	区補助金	2,613,900		2,613,900	0
	利息	0		6	6
	計	3,541,014		3,503,525	▲ 37,489

支出		予算	実績内訳	実績	差額
一般会計	運営管理費全般	130,000		85,500	▲ 44,500
	世話人会運営費		25,500		
	ホームページ管理費		60,000		
特別会計	(1) イベント(大人の学園祭)				
	イベント運営費全般	490,000		355,594	▲ 134,406
	講師講演料		100,000		
	接遇費		8,650		
	交通費		58,000		
	広告①デザイン費		20,000		
	広告②印刷費		46,609		
	通信費		15,890		
	事務費		14,709		
	保険料		1,830		
	団体補助		44,000		
	実行委員交通費		38,500		
	その他		7,406		
	世田谷区への返還金	0		128,909	128,909
	(2) せたがやシニア現役プロジェクト				
	プロジェクト運営費全般	2,726,400		2,459,616	▲ 266,784
	40歳からの仲間づくり		255,549		
	地域活動体験講座		304,865		
	iPadアドバイザー講座参加費		225,864		
	便利情報アプリ等のプラットフォーム		120,660		
	地域活動団体HP作成支援		1,088,000		
IT講座関連経費		12,744			
IT企画		79,000			
共通経費		372,934			
世田谷区への返還金	0		242,290	242,290	
	計	3,346,400		3,271,909	▲ 74,491

次年度への繰り越し 231,616

一般会計

※新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、会計監査は郵送にて実施した。
そのため、一般会計の会計報告は2ページに分かれている。

令和元年度（2019年度）生涯現役ネットワーク会計報告

（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

収入の部

前年より繰越 年会費（団体）	217,114円
・30年度分1団体	2,000円
・31年度分49団体	98,000円
・利息	2円
計	<u>317,116円</u>

支出の部

世話人会運営費	25,500円
ホームページ管理費	60,000円
計	<u>85,500円</u>

次年度繰越金 231,616円

会計担当者 世田谷環境学習会 石川令子

会計監査報告

監査の結果適正に処理され、間違いないことを認めます。

令和2年 6月 4日

監査

伊東義昌



監査

一般会計

※新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、会計監査は郵送にて実施した。
そのため、一般会計の会計報告は2ページに分かれている。

令和元年度（2019年度）生涯現役ネットワーク会計報告

（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

収入の部

前年より繰越 年会費（団体）	217,114円
・30年度分1団体	2,000円
・31年度分49団体	98,000円
・利息	2円
計	<u>317,116円</u>

支出の部

世話人会運営費	25,500円
ホームページ管理費	60,000円
計	<u>85,500円</u>

次年度繰越金 231,616円


会計担当者 世田谷環境学習会 石川令子

会計監査報告

監査の結果適正に処理され、間違いのないことを認めます。

令和2年 6月5日

監査

松本 嘉美子 

監査

特別会計(1)イベント(大人の学園祭)

令和元年度補助金事業「大人の学園祭」予算・実績報告

【収入】

費目	予算額	実績額			増減額	備考
	(A)	収納済額(B)	未収納額(C)	計(B+C)=(D)	(D-A)	
講演会参加費	90,000	84,500	0	84,500	-5,500	@¥500×169人
世田谷区補助金	400,000	400,000	0	400,000	0	
シニア現役プロジェクト	0	0	0	0	0	
前回繰越金・利息	0	3	0	3	3	受取利息
合計	490,000	484,503	0	484,503	-5,497	

【支出】

領収書番号	費目	予算額(E)	決算額(F)	実績額の財源内訳		増減額(F-E)	備考
				その他の収入	区補助金		
①	講師講演料	100,000	100,000	0	100,000	0	講師 今井通子氏
②	接遇費	10,000	8,650	8,650		-1,350	休憩室茶菓子代 舞台花代
③	交通費	60,000	58,000	31,000	27,000	-2,000	実行委員・スタッフ 58名×1000円
④	広告費①デザイン費	20,000	20,000	0	20,000	0	チラシ2部
	広告費②印刷費	80,000	46,609	14,613	31,996	-33,391	印刷代
⑤	通信費	20,000	15,890	13,290	2,600	-4,110	郵送料・宅配便
⑥	事務費	20,000	14,709	7,714	6,995	-5,291	コピー代・事務用品費
⑦	保険料	10,000	1,830	1,830		-8,170	行事保険料
⑧	団体補助費	60,000	44,000		44,000	-16,000	22団体×2000円
⑨	実行委員交通費	90,000	38,500		38,500	-51,500	1回500円 13人 総計77回分
⑩	その他	20,000	7,406	7,406		-12,594	振込料・撮影代
合計		490,000	355,594	84,503	<u>271,091</u>	-134,406	

※ 区補助金返還額:400,000円-271,091円=128,909円

特別会計(2)せたがやシニア現役プロジェクト

(2019年度)せたがやシニア現役プロジェクト—2020年3月度 会計報告

<作成2020/4/1 小畑>

1) 2019年4月～2020年3月累計の予算管理と実績について

	当初予算(A)	実績(B)	差額(A-B)	進捗率
収入				
世田谷区からの補助金収入	2,613,900 (円)	2,613,900 (円)	0 (円)	100%
40歳からの仲間づくり参加費	20,000	13,000	7,000	65%
地域活動体験講座 参加費	30,000	18,000	12,000	60%
iPadアドバイザー講座参加費	60,000	57,000	3,000	95%
銀行利息		6	-6	
計	2,723,900	2,701,906	21,994	99%
支出				
①40歳からの仲間づくり	335,000 (円)	255,549 (円)	79,451 (円)	76%
②地域活動体験講座	334,500	304,865	29,635	91%
③iPadアドバイザー養成講座	235,500	225,864	9,636	96%
④便利情報アプリ等のプラットフォーム	150,000	120,660	29,340	80%
⑤地域活動団体HP作成支援	1,172,000	1,088,000	84,000	93%
⑥IT講座関連経費	25,000	12,744	12,256	51%
⑦ITG企画	80,000	79,000	1,000	99%
⑧共通経費	394,400	372,934	21,466	95%
計	2,726,400	2,459,616	266,784	90%
差額(収入—支出)	(注) -2,500 (円)	242,290 (円)	-244,790 (円)	

(注)当初予算策定時は、「40歳からの仲間づくり」参加費45名22,500円であったのを、実行計画時に40名20,000円に変更減少させたので、2,500円の差額が発生しています。

2) 上記の支出実績額の月別明細は、下記の通り報告します。

	支出額合計 (A+B+C)	うち小口現金 (A)人材G	うち小口現金 (B)ITG	うち銀行預金 (C)
2019年4月	0 (円)	0 (円)	0 (円)	0 (円)
5月	123,352	35,738	84,061	3,553
6月	353,068	175,250	105,085	72,733
7月	316,157	109,828	206,329	0
8月	383,918	51,904	332,014	0
9月	234,059	119,216	114,843	0
10月	159,737	14,000	144,437	1,300
11月	521,472	75,000	446,472	0
12月	95,616	24,000	71,616	0
2020年1月	138,825	0	138,825	0
2月	71,786	14,000	56,477	1,309
3月	61,626	220	61,406	0
計	2,459,616	619,156	1,761,565	78,895

3) 2020年3月31日現在の小口現金と銀行預金の残高は、下記の通り報告します。

	残高
小口現金	
人材G(佐伯様)	0 (円)
ITG(石田様)	0
小計	0
銀行預金	
会計(小畑)	242,290
合計	242,290

第3号議案 令和2年度世話人および役職の選任について

(組織及び運営体制)

第5条 ネットワークに、総会において選任した会長、副会長、世話人、会計監査を置く。

- 2 世話人は、4名以上とし、議決権を持つ者(以下「委員」という。)のなかから公募し、現在の世話人会が推薦するものとする。
- 3 世話人で構成される世話人会は、総会の決定により、具体的な企画・立案・事業実施を行う。
- 4 世話人の任期は1期2年間とし、再任も含めて通算3期までとする。再任の場合は世話人会の推薦を必要とする。
- 5 世話人の欠員補充は、総会の承認により行い、欠員者の任期を引き継ぐ。
- 6 世話人代表・副代表・会計担当は1名とし、世話人の互選により、代表・副代表・会計担当を1名ずつ選任する。世話人代表は会長を、副代表は副会長を兼務する。
- 7 会計担当は、会計簿等を備え、収入支出の状況を整理し、会計年度末に会計報告を行う。
- 8 会計監査は2名とし、会計年度末に監査を行う。なお、任期は2年間とし、再任は2期までとする。

令和2年度世話人

役職	氏名	団体名	任期
会長	兜山 好直	世田谷区健康体操連盟	2期2年目
	藤田 秀一	せたがやすまほ研究会	3期2年目
	片岡 龍次	トーク会	3期2年目
会計	鬼塚 正徳	NPO法人 せたがや移動ケア	3期2年目
	石川 令子	世田谷環境学習会	3期1年目
副会長	白井 達郎	世田谷地域デビューの会	2期2年目
	山根 明	NPO法人シニアSOHO世田谷	2期2年目
	秋山 宣興	ひだまり文化研究会	1期2年目
	河上 勇	世田谷砂場クラブ	1期1年目

令和2年度会計監査

氏名	団体名	任期
松本 富美子	食・生活・安全未来協会	1期2年目
真貝 高三	世田谷地域デビューの会	1期1年目

第4号議案 令和2年度事業計画について

(1) 運営体制

内容	役割分担等
総会 年2回ほど	世話人 議題内容の事前確認、当日説明 区(事務局) ・ 資料(開催通知、会議資料、議事録)の作成および送付 ・ 会場予約
世話人会 年5回ほど (必要に応じて、Zoom 会議を行う。 p.34、35にZoomの使用 について覚書あり。)	世話人 プロジェクトや新規入会会員の承認等 区(事務局) ・ 資料(会議資料、議事録)の作成および送付 ・ 会場予約 ・ 会員の入退会管理
プロジェクト	プロジェクトリーダー ・ 企画運営を行う ・ 世話人会および総会での報告 区 ・ 後援申請が認められたプロジェクトのみ、区後援事業として、 チラシの配布協力をする
<p>※ネットワークでは、中高年世代の地域活動参加を推進する企画を「プロジェクト」として支援している。プロジェクトは2団体会員以上の共催または団体会員が単独で実施する事業のことである。なお、団体会員が単独でプロジェクトを実施する場合には会則に定める条件を満たさなければならない。</p>	
・ イベント ・ シニアの社会参加の しくみづくりプロジェクト	実行委員 ・ 企画運営を行う ・ 世話人会および総会での報告 区 ・ 事業経費不足分について補助金支出 ・ チラシ配布、区のおしらせ掲載
ホームページ運営	ホームページ委員会 ・ 運営管理を行う ・ 世話人会および総会での報告
活動一覧改定	区 調査票の取りまとめ、印刷、製本を行う

(2)プロジェクト

(プロジェクト)

第7条 会員は、第2条に規定するネットワークの目的を実現するため、生涯現役の社会づくりを推進し、広く区民に呼びかけるプロジェクトを提案・実施することができる。

2 プロジェクトは、ネットワークに加入している2団体会員以上が共催・協力・連携等により実施する事業又は団体会員が単独で実施する事業とする。ただし、団体会員が単独でプロジェクトを実施する場合には以下に掲げる条件を満たさなければならない。

(1)内容が社会貢献にふさわしいものであること。

(2)収益を目的にしないこと。

(3)団体の経常的な活動ではないこと。

3 プロジェクト支援金額及び件数は別途世話人会が定める。

4 同一団体、同一テーマでのプロジェクトの応募は3年を上限とし、3年を超えるプロジェクトについては別途世話人会で協議する。

5 プロジェクトの実施希望団体は、計画案を原則としてプロジェクト実施前年度の2月又は実施年度の7月までに世話人会に提出する。

6 世話人会でのプロジェクト承認をもって、プロジェクトの構成員が推薦する者が「プロジェクトリーダー」となる。

7 プロジェクトの実施に先立ち、会員にプロジェクトの参加募集をすることができる。

8 プロジェクトに関するすべての権限及び責任は、プロジェクトの構成員に帰するものとする。

9 プロジェクトリーダーは、世話人会にてプロジェクトの進行状況報告を行い、総会にて成果報告を行うこととする。

【参考】令和元年度プロジェクト

番号	プロジェクト名
1	「せたがや生涯現役ネットワーク」を共生社会に活かすためのプロジェクト

※コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度プロジェクトの募集は延期しております。

(3) イベント

本事業は新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じたうえで実施し、今後の新型コロナウイルスの感染状況等によっては事業内容やスケジュールを変更する。

補助事業の名称	(仮称)「大人の学園祭」
補助事業のねらい	「せたがや生涯現役ネットワーク」は、設立目的の一つとして、中高年世代に対する地域活動を取り入れたライフスタイルの提案や、中高年世代の地域活動への参加促進と活動機会の拡大を図るため、地域の活動団体、区民、企業及び教育機関等に対し、生涯現役の推進のための理解の促進・啓発に関する情報交換及び交流の場を提供することをうたっている。本イベントを開催することで、参加者の地域活動のきっかけとなることをねらいとする。具体的には、生涯現役を実践している著名人による講演会を開催するとともに、本ネットワーク参加団体による舞台発表や展示を実施する。(令和2年度のテーマは「福祉」)
補助事業の対象	区内在住の中高年
補助事業の実施期間	令和3年2月21日(日)
補助事業の実施場所	成城ホール(多目的ホール、4階集会室A～E)
予定参加人数等	180名
補助事業の実施方法	◆年間スケジュール(予定) 令和2年 7月 実行委員募集、講演者検討 8月 イベント出展団体及び当日スタッフの募集 9月 ポスター・チラシデザイン、当日スケジュールの検討 12月 来場者募集開始 令和3年 1月 最終確認、イベント出展団体及び当日スタッフへの説明 2月 イベント実施 3月 実施報告書の提出
補助事業の期待できる成果	生涯現役社会づくりを目指す「せたがや生涯現役ネットワーク」の存在と役割を広く区民に周知すると同時に、各参加団体のPRを図り、社会的活動、特にボランティア活動で社会を支えてくれる多くの人材を獲得できる。

(4)シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト

本事業は新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じたうえで実施し、今後の新型コロナウイルスの感染状況等によっては事業内容やスケジュールを変更する。

事業名称	(仮称) シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト
事業目的	<p>地域活動の担い手発掘やシニア世代の地域社会での活躍の場を創ることを目的とし、これまで“せたがやシニア現役プロジェクト”事業が展開されてきた。これらへの参加がきっかけとなり地域活動団体への新規加入者がいる実績を踏まえ、実施手法を見直しながらさらなる事業展開を図る。</p> <p>本事業はこれまでの目的に加え、受け入れ団体となる地域活動団体のネットワークの強化に取り組みながら、シニアの地域活動や社会貢献活動への参加を促す。</p>
事業内容	<p>「シニアの地域活動体験・せたがや街歩き講座」の開催</p> <p>1) 講座受講生の募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講生募集(1次) 50名程 ・チラシ作成、配布 <p>2) 地域活動体験講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明会(講座の概要と、地域活動の概要) ・地域活動団体紹介 ・各団体での活動体験 ・活動報告会と懇親会 <p>3) せたがや街歩き講座 30名程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者有志で「せたがや街歩き」を企画 ・参加者募集(2次) ・協力スタッフの確保 ・せたがや街歩き×2回(2ルート)の実施 ・参加者交流会と地域活動団体紹介 <p>4) 活動記録の作成と生涯現役ネットワークホームページ掲載</p>
実施体制	<p>1) 本プロジェクトは、生涯現役ネットワークの世話人会が、事業計画と予算、決算などの事業責任をもって、具体的な活動はプロジェクトの実行委員会を組織し進める。</p> <p>2) プロジェクト実行委員会の構成メンバーは、生涯現役ネットワークの参加団体を主体として、区内に、生涯現役ネットワークの名前で公募する。</p> <p>3) 公募で集まったメンバーで実行委員長、副委員長、会計などの責任</p>

	<p>者を選出し、参加者の自主的な市民活動として、活動を進める。</p> <p>4) 実行委員会は定期的開催し、活動内容や進捗を生涯現役ネットワークの世話人会へ、逐次報告する。</p> <p>5) 令和2年度を初年度として、3か年の期間で本事業に取り組む。</p>																																																																																
事業完了予定日	令和3年3月31日																																																																																
事業の効果	<p>1) 講座参加者が、生涯現役ネットワーク参加団体のメンバーになってくれること、また、参加者のアンケートなどで、本事業の効果を把握し、事業内容を改善するようにPDCAを回すことにより、シニアが気軽に社会参加するきっかけを作るしくみとなる。</p> <p>2) 生涯現役ネットワーク参加団体が、「地域活動体験・せたがや街歩き講座」の講師やスタッフを担当することや、受講生の受け入れなどを通じて、それぞれの活動の意味を再確認し、また活動自体を広める機会とできる。</p> <p>3) 講座参加者募集などで、生涯現役ネットワーク加盟団体等の協力を得て、シニアの社会参加のしくみを効果的なものにできる。</p> <p>4) 講座参加者の交流イベントに地域活動団体にも参加してもらうことで、シニアの社会参加の受け皿となる生涯現役ネットワーク参加団体同士の活動を知り合い、お互いに顔の見える関係を作って、それぞれの活動を協力し合うきっかけとできる。</p>																																																																																
スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>全体</th> <th>地域活動体験</th> <th>まちあるき</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">7月</td> <td>上旬</td> <td>実行委員の公募</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中旬</td> <td>準備会の開催</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下旬</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">8月</td> <td>上旬</td> <td>実行委員会①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中旬</td> <td>実行委員会②</td> <td>協力団体呼びかけ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下旬</td> <td></td> <td>協力団体の確認</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">9月</td> <td>上旬</td> <td>実行委員会③</td> <td>参加者募集</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中旬</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下旬</td> <td></td> <td></td> <td>企画会(1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">10月</td> <td>上旬</td> <td rowspan="3">実行委員会④</td> <td>説明会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中旬</td> <td></td> <td>企画会(2)</td> </tr> <tr> <td>下旬</td> <td>団体紹介イベント</td> <td>参加者募集</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td></td> <td>実行委員会⑤</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>まちあるき実施</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td></td> <td>実行委員会⑥</td> <td>報告と交流会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td></td> <td>報告書作成</td> <td></td> <td>参加者交流会</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td></td> <td>実行委員会⑦</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			全体	地域活動体験	まちあるき	7月	上旬	実行委員の公募			中旬	準備会の開催			下旬				8月	上旬	実行委員会①			中旬	実行委員会②	協力団体呼びかけ		下旬		協力団体の確認		9月	上旬	実行委員会③	参加者募集		中旬				下旬			企画会(1)	10月	上旬	実行委員会④	説明会		中旬		企画会(2)	下旬	団体紹介イベント	参加者募集	11月		実行委員会⑤			12月				まちあるき実施	1月		実行委員会⑥	報告と交流会		2月		報告書作成		参加者交流会	3月		実行委員会⑦		
		全体	地域活動体験	まちあるき																																																																													
7月	上旬	実行委員の公募																																																																															
	中旬	準備会の開催																																																																															
	下旬																																																																																
8月	上旬	実行委員会①																																																																															
	中旬	実行委員会②	協力団体呼びかけ																																																																														
	下旬		協力団体の確認																																																																														
9月	上旬	実行委員会③	参加者募集																																																																														
	中旬																																																																																
	下旬			企画会(1)																																																																													
10月	上旬	実行委員会④	説明会																																																																														
	中旬			企画会(2)																																																																													
	下旬		団体紹介イベント	参加者募集																																																																													
11月		実行委員会⑤																																																																															
12月				まちあるき実施																																																																													
1月		実行委員会⑥	報告と交流会																																																																														
2月		報告書作成		参加者交流会																																																																													
3月		実行委員会⑦																																																																															

(5)ホームページ委員会

2020(令和2)年度ホームページ委員会活動計画案

委員会名	生涯現役ネットワーク ホームページ委員会
趣旨	このホームページは、ネットワークおよびその会員団体活動の情報を発信したり、会員団体のホームページとのリンクを張るなどの、会員団体間の情報共有のツールであることを理解していただき、各会員団体が相互に積極的な利用を図ることにより、より活発な活動を推進することを目的とする。
事業内容	<p>2012年度に立ち上げた生涯現役ネットワークのHPは、軌道に乗り、2018年度に委員会体制に変わったので、委員各位による情報収集力強化と安定的な運営が可能となった。</p> <p>2020年度は次の活動を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本年度は新型コロナウイルスの第2波感染防止のため、各団体とも慎重な活動・運営を行うと思われるので、状況を見ながらHPの情報発信を柔軟に進めていくとともに、Zoomの活用も図っていききたい。 ② ネットワークの活動を広報する。 ③ 会員各団体のイベント情報を広報する。会員団体からイベント情報の提供を得て掲載するほか、定例的な活動をしている会員については定期的な掲載を行う。また区報などに掲載された情報の中から会員のイベント情報を得て、HPに転載する。 ④ HPを持っていない会員からの活動紹介や会報誌の紹介依頼により掲載する。またHPを持っている会員からのリンク張りの依頼に対応する。 ⑤ 「大人の学園祭」が行われる場合は、HPによる広報と参加申込受付窓口を提供する。 ⑥ ネットワークのプロジェクトのイベントについても、広報に協力する。 ⑦ 世話人会や事務局から要望のあった情報を掲載する。 ⑧ その他、会員にとって有用と思われる情報を掲載する。 ⑨ HPへの問い合わせについては、事務局や会長と相談して対応する。
期待される効果	生涯現役ネットワークおよびその会員の広報活動に貢献できる。 委員会体制とすることにより、活用度の向上と安定的な運営ができる。
収入	収入:年間 60,000 円
支出	<p>支出:</p> <p>HP 更新作業費 3000 円 X12 月=36000 円</p> <p>会議費(注) 6000 円 X4 回= 24000 円</p> <p>計 60000 円</p> <p>注:委員の会議参加の交通費および情報収集のための活動費見合い</p>

2020. 05. 30

Zoom 会議に関する覚書

「せたがや生涯現役ネットワーク」を甲とし、「世話人広報担当 藤田秀一」を乙とし、世話人会などの会合に Zoom アプリを使用した遠隔会議(以下「Zoom 会議」という)を利用することに関して、次の通り覚書を取り交わす。

(管理者の委嘱)

第1条 甲は乙に対し、令和2年5月1日付けで、Zoom 会議の管理者を委嘱し、乙はこれを受諾する。

2 委嘱された Zoom 会議は、乙個人の利用目的では使用できない。

(管理者の業務)

第2条 乙は、Zoom 会議の管理者として、以下の業務を行う。

- 1 世話人および事務局が支障なく Zoom 会議に参加できるよう、技術面の指導・支援を行う。
- 2 甲の指定する日時に Zoom 会議を開催する。Zoom 会議の事前準備から、当日の Zoom 会議の開設、退場までの技術面の運営を行う。
- 3 Zoom アプリの有料版「小規模チーム用の Zoom ミーティングプラン(プロ)」が利用できるよう、乙の名義で、Zoom 社と契約する。また契約期間中、同社との間で技術面の対応を行う。
- 4 乙は Zoom 社に毎月の使用料を立替えて支払う。

(費用の支払い)

第3条 甲は、乙の Zoom 社への支払い済み領収書に基づき、乙が立替えた金額を遅滞なく乙に支払う。

(Zoom 会議の打ち切り)

第4条 甲は、Zoom 会議の開催が不要と判断した時は、乙に対し Zoom 社との契約打ち切りを要請する。ただし、契約打ち切り時期については、同社との契約規定による準備期間を考慮して、余裕を持った期日とすること。

2 乙は、甲の要請を受けて Zoom 社との契約終了の手続きを行う。その際発生する費用については、乙が立替えて支払い、甲は第3条の趣旨に沿って、領収書に基づき、乙に遅滞なく支払う。

(Zoom 会議の再開等)

第5条 甲は、Zoom 会議の開催を再開すると判断した時は、乙に対し Zoom 社との契約を再度締結することを要請する。

- 2 乙は Zoom 社との契約を再度締結し、第 2 条に定める管理者としての業務を再開する。
- 3 甲が再度 Zoom 会議の打ち切りを判断した時は、第 4 条の趣旨に沿って乙に要請し、乙は Zoom 社との契約を終了する。

(有効期間)

第 6 条 この覚書の有効期間は、令和 2 年 5 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日までとする。ただし甲が Zoom 会議を継続している限り、本覚書を 1 年ごとに自動的に更新するか、あるいは委員会形式の運用継続とするかを、有効期限までに決定するものとする。

(協議)

第 7 条 甲及び乙は、この覚書を変更する必要がある場合、又はこの覚書に定めのない事項若しくは疑義を生じた事項について新たに定める必要がある場合においては、その都度協議するものとする。

甲及び乙は、本書を 2 通作成し、各自その 1 通を保有する。

令和 2 年 5 月 1 日

甲 せたがや生涯現役ネットワーク代表 兜山好直

乙 せたがや生涯現役ネットワーク世話人広報担当 藤田秀一

第5号議案 令和2年度予算計画について

令和2年度の予算について、以下の通り執行する。

1. 会費の納入について

会則どおり、年2,000円の会費を徴収する。

2. 執行について

一般会計は会費を、特別会計は区補助金を主な財源とし、それぞれ所要の経費を執行する。

収入		R 1実績	R 2予算	予算内訳	差額
一般会計	前年度繰越金	217,114	231,616		14,502
	年会費	100,000	110,000		10,000
	利息	2	0		▲ 2
特別会計	(1) イベント(大人の学園祭)				
	講演会入場料	84,500	90,000		5,500
	区補助金	400,000	400,000		0
	利息	3	0		▲ 3
	(2) シニアの社会参加のしくみつくりプロジェクト				
	参加費	88,000	40,000		▲ 48,000
	地域活動体験参加費500円*50名			25,000	
	せたがや街歩き講座参加費 500円*30名			15,000	
	区補助金	2,613,900	494,000		▲ 2,119,900
	利息	6	0		▲ 6
	計	3,503,525	1,365,616		▲ 2,137,909

支出		R 1実績	R 2予算	予算内訳	差額
一般会計	運営管理費全般	85,500	154,200		68,700
	世話人会運営費			30,000	
	ホームページ管理費			60,000	
	プロジェクト支援金			30,000	
	消耗品費			5,000	
	郵送、通信費			5,000	
	Zoom有料版契約料			24,200	
予備費	0	187,416		187,416	
特別会計	(1) イベント(大人の学園祭)				
	イベント運営費全般	355,594	490,000		134,406
	出演料			200,000	
	イベント保険料			10,000	
	チラシ・ポスターデザイン費			20,000	
	チラシ印刷費			75,000	
	消耗品費			15,000	
	通信費			15,000	
	実行委員・当日スタッフ交通費及び弁当代			60,000	
	出展・出演団体事務費補助			50,000	
	実行委員会議交通費			45,000	
	世田谷区への返還金	128,909	0		▲ 128,909
	(2) せたがやシニア現役プロジェクト				
	プロジェクト運営費全般	2,459,616	534,000		▲ 1,925,616
	打合せ会議費(交通費)			35,000	
	打合せ会議室借用料500円*8回			4,000	
	チラシ作成(デザイン料) 地域活動・街歩き2種類			30,000	
	チラシ印刷費カラー両面A4、2000枚*2種類			30,000	
	地域活動体験講師謝礼(ゲスト講師)			10,000	
	地域活動体験謝礼(補助スタッフ)			60,000	
	地域活動受け入れ団体謝礼5団体			30,000	
	街歩き講師謝礼(ゲスト講師)			10,000	
	街歩き謝礼4名*2コース(補助スタッフ)			40,000	
街歩き実地調査(交通費)			30,000		
文具事務用品・消耗品費			30,000		
通信費			30,000		
企画運営管理費(会計業務等)			125,000		
パンフレット作成生涯現役ネットワーク通年用			70,000		
世田谷区への返還金	242,290	0		▲ 242,290	
	計	3,271,909	1,365,616		▲ 1,906,293

令和2年度 生涯現役ネットワーク予算計画

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

<u>収入の部</u>	
前年より繰越	231,616円
年会費(団体)	
・令和2年度分55団体	110,000円
計	<u>341,616円</u>

<u>支出の部</u>	
世話人会運営費	30,000円
ホームページ管理費	60,000円
プロジェクト支援金	30,000円
消耗品費	5,000円
郵送、通信費	5,000円
Zoom有料版契約料(11ヶ月分)	24,200円
予備費	187,416円
計	<u>341,616円</u>

特別会計(1)イベント(大人の学園祭)

収 入	費 目	予算額(単位:円)	内容・内訳
	区補助金 入場料	400,000 90,000	せたがや生涯現役ネットワーク支援補助金 180人×500円
合 計		(A)490,000	
支 出	費 目	予算額	内容・内訳
	出演料	200,000	講演者出演料
	イベント保険料	10,000	@25×400人
	チラシ・ポスターデザ イン費	20,000	
	チラシ印刷費	75,000	
	消耗品費	15,000	
	通信費	15,000	切手、印紙、はがき代、FAX等
	実行委員・当日スタ ッフ交通費及び弁当 代	60,000	当日交通費 500円×60人、 弁当代500円×60人
	出展・出演団体事務 費補助	50,000	2000円×25団体
	実行委員会議交通費	45,000	500円×6回×15人
	合 計	(B) 490,000	

特別会計(2)シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト

(1) 区補助金該当部分

【収入】		
費目	金額 (円)	積算内訳
補助金	494,000	支出合計額－各事業参加費
地域活動体験参加費	25,000	500円*50名
せたがや街歩き講座参加費	15,000	500円*30名
合計	534,000	
【支出】		
費目	金額 (円)	積算内訳
1) 事業経費		
打合せ会議費 (交通費)	35,000	500円*10名*7回 (実行委員)
打合せ会議室借用料	4,000	500円*8回
チラシ作成 (デザイン料)	30,000	地域活動・街歩き 2種類
チラシ印刷費 (送料込み)	30,000	カラー両面A4、2000枚*2種類
地域活動体験講師謝礼	10,000	5,000円*2名 (ゲスト講師)
地域活動体験謝礼	60,000	5,000円*3名*4回 (補助スタッフ)
地域活動受け入れ団体謝礼	30,000	2,000円*15団体 (資料準備・交通費等)
街歩き講師謝礼	10,000	5,000円*2コース (ゲスト講師)
街歩き謝礼	40,000	5,000円*4名*2コース (補助スタッフ)
街歩き実地調査 (交通費)	30,000	5,000円*3名*2コース
小計 (ア)	279,000	
2) 共通経費		
文具事務用品・消耗品費	30,000	コピー代、インク・用紙代、その他
通信費	30,000	電信料・郵便料
企画運営管理費	125,000	各会議資料、会計業務等
パンフレット作成費	70,000	生涯現役ネットワーク通年用
小計 (イ)	255,000	
合計	534,000	(ア) + (イ)

(2) その他経費

費目	金額	積算内訳
交流会経費	実費	予算計上せず
協力団体・個人の通信費	実費	予算計上せず

第1号報告 会員入・退会について

(1) 会員入会について

番号	入会承認日	団体名
1	令和2年6月18日	自力ヨガ・クラブ

(2) 会員退会について

番号	団体名
1	ベネッセスタイルケア
2	SOMPO ケアメッセージ株式会社 ジャパンケア世田谷サテライト

令和2年6月18日現在、55団体加入

